**プレゼンテーション構成案：メディカル・インテリジェンス・アシスタント「華 (HANA)」のご提案**

**対象者:** 院内の医師、医療情報部門、病院経営層  
**発表時間:** 10分程度  
**目的:** ツールの有用性を伝え、導入検討を促す

**スライド1: タイトル**

**(背景に落ち着いた青や緑のグラデーション、または清潔感のある医療系の画像)**

**メディカル・インテリジェンス・アシスタント「華 (HANA)」**

**- 生成AIが拓く、次世代の臨床思考支援 -**

**スライド2: 現代医療における臨床現場の課題**

**多忙な医師が直面する「情報の壁」**

* **情報過多と時間不足**
  + 日々更新される膨大な医学論文や診療ガイドライン。
  + 限られた診察時間の中で、最適な情報を取捨選択する必要性。
* **複雑化する症例**
  + 高齢化に伴う複数の合併症を持つ患者の増加。
  + 鑑別診断や治療方針決定の難易度が上昇。
* **事務作業の負担**
  + カルテ記載などのドキュメンテーション業務が、患者と向き合う時間を圧迫。

**これらの課題が、医師の負担増と医療の質の維持を困難にしています。**

**スライド3: 解決策のご提案**

**解決策: AIアシスタント「華 (HANA)」の導入**

**「華 (HANA)」は、医師の "第二の頭脳" として機能する、**  
**プロフェッショナル向けの生成AI搭載・臨床思考支援ツールです。**

* **目的:** 医師がより本質的な「思考」と「判断」に集中できる環境を創出する。
* **特徴:**
  + **高速な情報アクセス:** 最新の医学情報やデータを瞬時に整理・要約。
  + **論理的な思考支援:** 複雑な情報から、客観的な示唆を提供。
  + **業務の効率化:** 定型的な事務作業を自動化。

**「調べる」時間を短縮し、「考える」時間を最大化します。**

**スライド4: 「華 (HANA)」の主な機能 (1) - 診断支援**

**(左側にPC画面のデモ画像やアイコンを配置)**

**機能①：鑑別診断アシスト**

**症状や検査所見から、考えられる疾患をAIが網羅的にリストアップ。**

* **入力情報:**
  + 主訴、現病歴、身体所見、検査データなど
* **AIからの出力:**
  + **鑑別疾患リスト:** 可能性や緊急度の高い順に提示。
  + **論理的根拠:** 各疾患を支持/否定する所見を明記。
  + **次のアクション提案:** 確定診断に必要な追加検査等をサジェスト。

**⇒ 思考の漏れを防ぎ、診断プロセスを体系化・高速化します。**

**スライド5: 「華 (HANA)」の主な機能 (2) - データ分析**

**(左側にグラフや検査結果のイメージ画像を配置)**

**機能②：ラボデータ分析**

**煩雑な血液検査データを、AIが解釈し病態をアセスメント。**

* **入力情報:**
  + 血液検査、尿検査などのラボデータ
* **AIからの出力:**
  + **異常値の特定:** 基準値を逸脱した項目をハイライト。
  + **統合的アセスメント:** 複数の異常値を関連付け、考えられる病態を考察。
  + **追加検査の推奨:** 病態解明のための次のステップを提案。

**⇒ 膨大な数値の中から、臨床的に意義のあるパターンを迅速に発見します。**

**スライド6: 「華 (HANA)」の主な機能 (3) - 情報収集**

**(左側に論文や書籍のイメージ画像を配置)**

**機能③：医学情報リサーチ**

**「〇〇の最新治療は？」といった自然言語での質問に、AIがエビデンスベースで回答。**

* **入力情報:**
  + 治療法、薬剤、病態生理などに関する具体的な質問
* **AIからの出力:**
  + **要点（結論）:** 質問への回答を簡潔に提示。
  + **詳細解説:** 背景やメカニズムを分かりやすく説明。
  + **エビデンスの引用:** 主要なガイドラインや臨床試験名を明記。

**⇒ 院外での文献検索時間を大幅に削減し、EBMの実践をサポートします。**

**スライド7: 「華 (HANA)」の主な機能 (4) - 業務効率化**

**(左側にカルテのイメージ画像を配置)**

**機能④：カルテ作成支援**

**医師の口述やメモ書きを、AIが構造化されたSOAP形式のカルテ下書きに変換。**

* **入力情報:**
  + 診察中の音声メモや箇条書きテキスト
* **AIからの出力:**
  + **SOAP形式での整理:** 情報をS, O, A, Pに自動で分類。
  + **文章の清書:** 口語体を医療用語を用いた簡潔な文章に変換。
  + **確認点の明示:** 情報が不足している箇所は [要確認] と表示。

**⇒ カルテ記載の時間を劇的に短縮し、医師を事務作業から解放します。**

**スライド8: 技術的背景と安全性**

**信頼性と安全性の確保**

* **AIエンジン:**
  + Google社の最新大規模言語モデル「Gemini 1.5 Pro」を搭載。
  + 高度な文脈理解と論理的推論能力を誇ります。
* **プロンプトエンジニアリング:**
  + 各機能に特化した専門家（総合診療医、臨床検査医など）としてAIの役割を厳密に定義。
  + 出力形式を標準化し、情報の質と一貫性を担保。
* **免責事項の徹底:**
  + **AIはあくまで「思考支援ツール」です。**
  + 全ての出力に免責事項を明記し、最終的な臨床判断は必ず医師が行うことを前提としています。
  + （将来的には院内閉域網での運用も視野に入れています）

**スライド9: 導入によるメリット**

**「華 (HANA)」がもたらす価値**

* **医療の質の向上**
  + 診断精度の向上と見落としリスクの低減。
  + エビデンスに基づいた医療（EBM）の実践を促進。
* **医師の負担軽減**
  + 情報収集や事務作業にかかる時間を大幅に削減。
  + 医師が患者と向き合う時間を増やし、ワークライフバランスを改善。
* **病院経営への貢献**
  + 診療プロセスの効率化による生産性の向上。
  + 先進技術の導入による、若手医師への魅力向上と病院のブランド価値向上。

**スライド10: まとめと今後の展望**

**まとめと今後の展望**

**「華 (HANA)」は、医師の最も信頼できるパートナーとなることを目指します。**

* **まとめ:**
  + 診断支援から業務効率化まで、臨床現場のニーズに幅広く対応。
  + 医師の専門的判断を尊重しつつ、そのプロセスを強力にサポート。
* **今後の展望:**
  + 電子カルテシステムとの連携。
  + 画像診断（レントゲン、CT）の読影補助機能の追加。
  + 各診療科に特化した専門モデルの開発。